

出題のねらい

【1】は文法力と語彙力を問う問題です。高校の英語教科書で学ぶ基礎的な文法事項や語句が出題されています。【2】は会話文ですが、定型文の知識を問うのではなく、前後の文脈把握、会話のテーマへの理解力に重点を置いた出題となっています。【3】は作文問題ですが、整序形式の出題であり、英文の構造をどれだけ正確に理解しているかが鍵となります。【4】は長文読解問題です。平成30年度入試では東京の通勤列車の混雑ぶりを取り上げたエッセイからの出題です。本文中の語句や文の意味や内容を問う問題と、全体の内容理解に関する問題から構成されています。

【1】

【解答】 (30点)

1	④	2	③	3	④	4	①	5	②
6	③	7	④	8	④	9	①	10	③

(各3点×10)

【解説】

- (1) if you don't want to answer my questions の answer my questions の部分が省略された形です。
- (2) remain to do で「なお～すべきである」の意味。問題文の意味は、「多くの問題は未だに議論されていないままで。」
- (3) ここの which は関係形容詞であり、in which case で、「その場合には」の意味です。
- (4) It is (high) time that ～で、「もう～してもいい時だ」の意味です。that 節は仮定法過去となりますので、動詞は過去形となります。
- (5) otherwise は「そうでなければ、それがなければ」の意味です。文の意味は、「それがなければ飢餓で死んでいただろう多くの子どもたちをその政策が救った。」です。would have が仮定法過去完了であることにも注意してください。
- (6) take an hour off: 一時間の休憩を取る
- (7) 色が似合うという場合、動詞は suit です。色と色が合っているという場合は match を使います。
- (8) take to ～: ～を好きになる
- (9) 弁護士の顧客ですから、client が正解です。consumer は消費者、passenger は乗客、

patient は患者です。

- (10) 王室 (king or queen) のない国の政治指導者ですから、president (大統領) が正解です。governor は知事、prime minister は首相、mayor は市長です。

【2】

【解答】 (20点)

11	⑤	12	⑥	13	③	14	①	15	②
----	---	----	---	----	---	----	---	----	---

(各4点×5)

【解説】

- (11) Naomi が「もうそれはやったわ。カナダ、オーストラリア、ニュージーランドがその種類のビザを提供している。」と答えているので、⑤の「日本とワーキングビザ協定を結んでいる国をネットで調べてみたら。」が正解です。
- (12) Naomi がカナダやアメリカの英語について言及していますから、⑥の「どんな英語を学びたいか次第」が正解です。
- (13) オーストラリアとニュージーランドの2か国の英語が話題となっていますので、③の「オーストラリアとニュージーランドの英語を聞くためにインターネットでチェックしてみようかしら。」が正解です。
- (14) Yuri が「二か国の英語の違いが分かるかどうかはつきりしませんね。」と言っています。それを受けて、「あなたの言うとおりで」と Naomi が答えていますから、①の「多分、私には違いは分からないわ。」が正解です。
- (15) カナダに行くつもりと言っていますから、②の「カナダ大使館でビザについて調べてみるわ。」が正解です。

【3】

【解答】 (15点)

16	④	17	②	(3点)
18	④	19	③	(3点)
20	④	21	②	(3点)
22	③	23	②	(3点)
24	③	25	④	(3点)

【解説】

(16)

(17) What would you like to have for breakfast, eggs or cornflakes?

「朝食に何を食べますか」の意味です。for の使い方に注意してください。

(18)

(19) The president had agreed not to make any comments.

agree to do で「～することに同意する」の意味ですが、ここでは not の位置に注意してください。「コメントを出さないことに同意した」の意味です。

(20)

(21) Don't speak with your mouth full.

with your mouth full で「口の中を(食べ物で)いっぱいにして」の意味です。

(22)

(23) The professor is more like a businessman than a scholar.

more like A than B で、「B というより A のようだ」の意味です。「その教授は学者というよりビジネスマンのようだ。」

(24)

(25) Our wedding reception will be of the simplest kind, with just a few friends invited.

of + 名詞で形容詞句となります。cf. They are of the same age. (彼らは同い年です)

【4】

【大意】

先日、フェイスブックニュースフィードを眺めていると、母国の友人と共有していたビデオに出くわした。東京のラッシュ時に混み合った電車で何とか押入ろうと悪戦苦闘している人たちを映したビデオで、「東京のラッシュ時はとても面白い」というキャプションがついていた。ユニラッドという英国の学生ニュースサイトに投稿されたもので、閲覧者数は1700万、世界中から43000以上のコメントが寄せられている。

皮肉なことに、とてつもなく窮屈な通勤時間中に、私はそのビデオを見ていたのだ。典型的な東京での通勤者の動きを実践していたわけだ。つまり、後ろ向きになって電車に乗り、扉の枠を手で押して、何とか体を入り込ませる。そして、扉が閉まるまで息を止める。まさにこうした動作を携帯電話で見ていたのだ。自分の顔から3センチも離れていないところに電話を持っていた。そこから動かすことができないのだから。

新しい仕事を始めるために東京へ引越す前、通勤こそが一番の悩みの種だった。ユニラッドに投稿されているビデオと同内容な写真やビデオをすでに見てきていたし、通勤がストレスを高め、肥満度を増し、ひいては寿命を縮めるということも読んでいた。

ビデオに対する反響としては、これほど多くの人が車両(山手線であろう)に入るのかとショックを受ける人もいれば、こんな状態が毎日続いているとは信じられないという人もいた。多くの人たちは呆気にとられ、十分な車両を用意していない鉄道会社を非難したり、こうまでして時間通りに必死に職場に向かう必要があるのかとの批判の声もあがっていた。

「混み合っている電車にさらに乗ってくるなんて耐えられない。このビデオは私の考える地獄そのものだ。」

「この社会の問題は、みんなが自分とはとてつもなく忙しいと考えていることだ。のんびりやっていく必要がある。このビデオは社会について何かを語っている。」

「面白いものではない。絶望的な交通システムしかない混雑しすぎた国の話だ。」

どう思う? 面白いことだが、私自身はこの通勤をストレスに感じたことはない。もちろん、缶詰のイワシは不快だし、変な格好を強られるのは時には苦痛だ。しかし、全員で我慢しているという驚くべき感覚がある。集団での禁欲と言えようか。いかに状況が悪くても、不満は口にせず、舌打ちもせず、腹も立てない。目を閉じて昼寝するか、静かに携帯電話か本を読むか、音楽を聴くのだ。

ロンドンでこうした状況となれば、人々は悪態をつき、周囲に当たり散らすだろう。多分、他の乗客の乗車を拒むのではなかろうか。

結局、通勤しなくてはならないのなら、毎日がとてつもなく面白い東京での電車通勤を選ぶだろう。

公募制推薦入試／英語(後期)

【解答】 (35点)

26	②	27	①	28	③	29	①	30	④
(各3点×5)									
31	②	32	⑤	33	⑥	34	⑨		
(順不同OK) (各5点×4)									

【解説】

- (26) squeeze は「無理やり入る」という意味です。①の rush は「駆け込む」という意味ですからここには当てはまりません。
- (27) 東京のラッシュ時を映したビデオを見ながら列車に乗り込んだと筆者は語っています。①の典型的な東京での通勤者の動きを記録したビデオです。
- (28) 下線部 (3) に続く箇所で、I had read about how commuting can lead to increased stress levels, …と述べていることから、③の「不快な通勤状況は健康に悪いと知っていたから」が正解です。
- (29) 段落の最初の箇所で、「いかにこれほど多くの人々が車両に入ることができるのか」という点に衝撃を受けていると筆者は述べています。よって①の「混みあっている列車に押し込められている通勤者」が正解です。
- (30) ラッシュ時の通勤者の状況を見ての感想です。「のんびりして、忙しくするのを止めよう」という提言です。
- (31) racking up more than 43,000 comments from all over the world と書いてあります。②が正解です。
- (32) how commuting can lead to increased stress levels, …と筆者は指摘していますから、⑤が正解です。
- (33) some expressed shock at just how many people were able to fit into the carriage(I think it was the Yamanote Line), while others seemed unable to believe that this kind of thing happens daily. この箇所から分かるように、ラッシュ時の列車の混雑ぶりを信じられない人たちもいるようです。正解は⑥。
- (34) If this happens in London, people would be swearing and getting aggressive. Probably, they wouldn't even let others on the train. ロンドンで同様の事態が起きれば、人々は怒り、他人の乗車を拒むだろうと筆者は述べています。⑨が正解です。